議会活動レポート

議会改革度調査2024

早稲田大学デモクラシー創造研究所が発表した「地域経営のための議会改革度調査2024」で、菊川市議会は全国総合99位（前年度63位）、静岡県内6位（前年度1位）との評価を受けました。

地域経営のための議会改革度調査とは

早稲田大学デモクラシー創造研究所が、全国の地方議会に対し前年の議会活動等を調査、数値化、ランク付けして公表しています。今回は1544議会が回答し、回答率は86・4％でした。

調査のリニューアル

昨年度まで議会改革度調査を実施していた「早稲田大学マニフェスト研究所」と、「早稲田大学公共政策研究所」の2つの研究所を引き継ぎ、令和7年4月1日に「早稲田大学デモクラシー創造研究所」が設置されました。

2010年度に開始した『議会改革度調査』は15年目を迎えました。地方自治体を取り巻く環境は大きく変化し、一層、地域課題解決や未来創造の具体的な成果や変化が求められるようになりました。そのため、タイトルに『地域経営のための』が加わり、問いの設計も改められました。

【調査の観点】

1. 政策力の強化
   新しい技術も活用しながら、政策形成・政策提言を行う
2. 主権者の参画
   住民の意見を政策に反映させる仕組みの構築と実践
3. 議会機能の強化
   二元代表制の一翼を担う機関として、事務局を含めた議会全体の機能の強化

ICT化の推進も継続しつつ、社会の変化に対応し、より良い議会となるよう取り組んでまいります。

議会豆知識

「自主財源」と「依存財源」

◆自主財源とは

地方公共団体が自分たちで自主的に集められる財源のことをいいます。代表的なものは市税で、その他に分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、繰越金等があります。

◆依存財源とは

国や県の決定や割り当てに基づく財源のことをいいます。国庫支出金や県支出金のほか、地方譲与税、利子割交付金等の各種交付金、また、地方債（市債）もこれに該当します。

◆自主財源と財政健全化

歳入全体に占める自主財源の割合が高い方が、自由度が高く、自主性と安定性を確保する上では望ましいとされています。菊川市は、令和5年度決算の歳入のうち自主財源が98億815万円で45・1％でした。

地方公共団体の財政は、単純に自主財源比率だけで判断されるものではありません。財政の健全性は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく5つの指標を使ってチェックされます。詳細は令和6年12月号の広報菊川で特集されています。

広報菊川12月号はこちらから

「広報菊川」で検索